

免疫チェックポイント阻害薬の 治療を受けられる患者さまへ

— 特に注意が必要な副作用 について —

免疫チェックポイント阻害薬による治療中には様々な副作用が出現することがあります。ご自身やご家族で治療後の副作用や状態に注意し、気になることは医師や看護師、薬剤師に相談してください。

また、重大な副作用の初期症状となる

① 発熱 ② 下痢 ③ のどの渇き ④ 力が入りにくい

などの症状がある場合には病院へ連絡してください。

その他、治療の前後で全身状態が悪くなっていると感じた場合や自宅で不安に感じることなど、遠慮なく病院に連絡してください。

電話では、下記の内容を伝えて下さい

- ① 氏名
- ② 診察券に書かれているID番号
- ③ 免疫チェックポイント阻害薬治療中であること
- ④ 治療を受けている診療科
- ⑤ いつからどのような症状があるか
(体温、食事の有無、排便の状況、呼吸の状態など)

【大阪医科薬科大学病院への連絡先】

電話番号 **072-683-1221** (代表)
平日 8時30分～ 16時50分 各科外来
休日・夜間 16時50分～ 翌8時30分 各科当直医

以下のような症状が現れたら、
すぐに病院に連絡してください。

間質性肺炎

① 発熱

- 37.5 度以上の発熱がある
- 日常生活はできるがゆっくり歩行した際に息切れする
- 痰のない乾いた咳が増えた

大腸炎・下痢

② 下痢

- 普段と比べて1日に4回以上の下痢をするようになった
- 便に血が混じる、便が粘り気がある
- 腹痛がある

1 型糖尿病

③ のどの渇き

- のどがひどく渇く
- 水分を多くとるようになった
- 尿量が増えた

重症筋無力症・筋炎

④ 力が入りにくい

- ものが2重に見えるようになった
- 筋肉痛がある
- まぶたがさがる

以下のような症状が現れたら、
受診時に医療スタッフにご相談ください。

内分泌障害

- いつもより疲れやすい（倦怠感）
- 体重の増減
- 行動の変化
(いらいらする、物忘れしやすいなど)

静脈血栓症

- 下肢の腫れ、むくみがある
- 胸痛

皮膚障害

- 発疹ができた
- 皮膚にかゆみがある

神経障害

- 手足のしびれがある
- 筋肉痛がある
- 感覚のまひがある

- ◎ 軽い症状であっても、急に悪化することもありますので
我慢せず病院へご連絡下さい
- ◎ 症状が出た場合は、早期に適切な対処を行うことが重症
化を防ぐために重要です
- ◎ 治療終了後も副作用が出現する可能性があります

治療日誌

症状発現時や来院時に記載し、受診時に主治医へ提出してください

症状が(0.なし 1.少しある 2.ある 3.日常生活に支障をきたす)

月/日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
薬剤の投与							
体重 (kg)							
体温 (°C)							
息切れ・息苦しさ							
空咳							
下痢							
血便							
腹痛							
のどが渇く							
手足に力が入らない							
ものが二重に見える							
筋肉痛							
まぶたが重い							
吐き気							
嘔吐							
食欲がない							
だるい(倦怠感)							
皮膚や白目が黄色くなる							
疲れやすい							
むくみ							
貧血							
尿量が減る、尿が出ない							
発疹・かゆみ							
メモ(その他、気になることがあればお書きください)							